

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

10/2「小信中島短期大楽」第4回教養講座

「脳卒中のお話」

本年度第4回目の教養講座を開催しました。今回は一宮西病院の診療部長兼脳神経外科部長の宮寄章宏（みやざきあきひろ）先生のお話をうかがいました。

「脳は痛みを感じません。」そんな話から脳卒中とはどんな病気か、どのような症状が出るのか、予防するにはどうしたらよいのかなど、分かりやすくお話していただきました。脳卒中を予防するには手始めに高血圧から直す事、糖尿病をほっておかない事、不整脈は見つかり次第すぐに病院を受診することなど、10項目にわたる予防法を一つ一つ解説していただき、100人以上の参加者全員がしっかり学ぶことができました。

さらに現在の脳梗塞の治療方法の最前線を、一宮西病院のデータも交えながら教えていただくと共に、いろいろな質問にもていねいにお答えいただきました。ふだんから病気に対する心構えと、対処法・予防法の実践をしていきたいと思います。（連区長 記）



脳卒中の予防法を伺いました

10/6 三世代交流 なかよしフェスタ 開催

例年11月に開催している三世代交流事業のなかよしフェスタですが、今年は小信中島小学校の体育館補修工事が行われるため、一ヶ月早く10月6日（日）に児童育成協議会の主催で行われました。

今年のイベントは「サーカスエコロジカル」のパフォーマンスライブ！サイエンスショーとサーカスが融合したステージはコント仕立てで、子どもたちの笑い声が体育館に響き渡りました。科学実験をしながら環境問題について考える、面白くてためになるステージでした。

外ではラーメン、みたらし団子、フランクフルトがふるまわれ、給水エリアではお茶で熱中症予防をしてもらいました。年配者にはおせんべいのプレゼントもありました。テントとイスが並べられ、まるでサロンのよう



サーカスエコロジカル

（ウラへつづく）

(オモテより)

に参加者の方はおしゃべりに花を咲かせていました。世代を超えて、楽しい交流をすることができました。

児童育成協議会の役員の皆様、育成会ボランティアの皆様、協力団体の役員の皆様の多大なるご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。
(児童育成協議会会員 記)



10/15・18 女性の会

干支木目込み作り



かわいい子（ねずみ）ができました

10月15日と18日の二日間で、来年の干支、子（ねずみ）を作りました。十二支は、子（ねずみ）で始まります！

二度目の東京オリンピックも開催される年で、新しい日本の飛躍と重ね合わせ、長年干支作りをしている方も、初めて木目込みの干支作りに挑戦された方も、楽しく作品を作りました。（女性の会会員 記）

10/20 小信中島連区防災(避難所開設)訓練

10月20日(日)、小信中島小学校屋内運動場において、防災訓練を実施しました。本年度は連区全体の取り組みということで、災害時に避難所となっている小信中島小学校屋内運動場がその役割を果たすことができるのか、また避難所になった場合、連区長はじめ町会長など役員がどのような役割を果たすことができるかを検証する目的で実施しました。9月15日市危機管理課の指導で町会長さん方にHUG訓練(HひなんじょUうんえいGゲーム)を行って、避難所を運営する際に起こりそうな事態に対してどのように対処するのかを学んでいただき、今回の訓練につなげました。

9時に役員集合、避難所を準備。順次避難してみえた各町内の方々を受け入れていきました。屋内運動場の広さから100人程度しか避難を受け入れられないことや、障がい者の方や乳幼児連れの方の場合どうするかなど課題はたくさん出きました。訓練にあたってアンケートを行いました、その中でいちばん気になる災害は地震でした。もしもの場合十分その機能を発揮できる避難所を、地域としてこれからは準備していきたいと思います。なおアンケートで「家庭における災害に向けた準備」を聞きましたが、60%以上の方が「あまりできていない」と回答されました。各家庭でも準備は怠り無くしておきましょう。

今回、一宮市防災ボランティアネットワーク・尾西消防署・市危機管理課・消防団小信中島分団などの皆さまにご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。（連区長 記）



【 12月 連区の行事 】

★ 7日（土） 人形劇鑑賞会「赤ずきんちゃんのおつかい」 午前10時～ 公民館

★ 14日（土） 年の瀬ウォーキング&もちつき大会 午前9時～ 堤治神社